

女川原子力発電所2号機の安全性に関する検討会 論点一覧 () : 第16回で検討する項目)

※水色の行は説明済を示し、黄色の行は一部説明済を示す。

分類	項目 (論点)	意見No.	質問・意見・要望等	質問者	検討会における説明時期 (○:説明済 △:途中経過等を適宜説明 追:説明済の論点に対し追加で説明)																説明状況		
					第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回				
1. 健全性確認	(3)記録不備	29	発電所内、電力会社内の確認体制、確認状況等について、保安規定違反「監視」扱いとなった点検記録不備の問題との関連も含めて説明してもらいたい。 【関連質問】今回の不備等について、なぜ保安検査まで気づかなかったのが問題である。協力会社の承認の段階、電力の承認の段階で誰も気づかなかったのかについても、分析が必要。(第3回)	首藤委員		△	○													説明済			
		兼本委員			○															説明済			
		長谷川委員		△	○															説明済			
	(4)震災時の津波調査	4	女川原子力発電所は、東日本大震災で津波の影響を受けているが、その被害過程の把握とその後の対応は妥当かどうかについて確認したい。(本項目では、下線部が対象) 【関連質問】震災時に常時観測用潮位計が欠測した原因を踏まえたように対策したか説明してほしい。また、測定範囲は、防潮堤高さ(29m)まで測定できるか説明してほしい。(第2回) 【関連質問】今回観測された津波の周期は50分前後で地形等の固有周期とは合致せずとあるが、実際に固有周期は何分であるのかを示して欲しい。(50分ではないことをしっかり示していただきたい)また、スペクトル解析において、短い成分で9分というのがあるが、これが固有周期とどう対応なのかを解析していただきたい。(第2回) 【関連質問】津波再現性解析の妥当性根拠としている痕跡高の調査範囲や地点数について具体的に示してほしい。(第2回) 【関連質問】資料3のP16の再現性について、時間領域の波形だけでなく、周波数領域としてどうなのかを示していただきたい。(第2回)	今村委員	○																説明済		
				今村委員 兼本委員						○												説明済	
				今村委員							○											説明済	
				今村委員								○										説明済	
				鈴木委員								○										説明済	
	(5)設備被害	1	1号機の天井クレーン走行部の損傷に関して、仮に緊急的に原子炉の蓋を開けて燃料取り出しをする必要性が生じていた場合、機能は担保できていたのか。 【関連質問】1号機の天井クレーン走行部の軸受は、2、3号に比べて耐震性が弱く、壊れることが分かっていたのではないかと、この点についてしっかりと答えしてほしい。(第4回) 【関連質問】想定される地震動が入ったときに、どのくらい建屋が揺れて、それがガーターにどう伝わって、そしてそれがクレーンの機能に対してどのような影響を与えるのかを示してほしい。(第4回)	岩崎委員			△																
				岩崎委員																			
				鈴木委員																			
	3	軽微な被害の評価について、個々の設備についての評価が軽微となったものでも、被害想定ストーリーから見ると重大な被害に結び付く恐れのある被害もありうる。総合システムとしての安全性確保の視点からの評価も実施してほしい。	鈴木委員				○													説明済			
	(6)ソフト面の対応	11	被災した当時の運転当直の対応状況(どのように状況を把握し、どう対処したか)について説明してもらいたい。	首藤委員	○																説明済		
		12	被災した当時の発電所災害対策本部の対応状況(どのように状況を把握し、どう対処したか)について説明してもらいたい。具体的には、例えば次のような内容等 ・地震による被害状況の把握 ・津波警報発令への対応状況(含む、構内人員の安全確保、退避行動) ・対外対応の状況(例:地元の町、国等への情報連絡):地震直後と津波来襲後では異なると思われるので、その違いも含めて 【関連質問】3.11時の対応状況の時系列については、今後さまざまな対応をするときの基礎になることから、もっと時間を軸で含めるとか詳しく示してほしい。(緊対室と国・自治体との連絡体制、現場確認状況、外部(報道機関)への情報発信、各対応要員の人数等)(第2回) 【関連質問】2号の浸水事象について、漏れ水の放射能濃度の測定方法および処理方法の判断をどのように行ったのか具体的に教えてほしい。(第2回) 【関連質問】本店対策本部の本部別の代行順位について、何番目まで決めているのか、また、どのような考え方で決めているのか。(第5回)	首藤委員	○																説明済		
				長谷川委員 源安委員 今村委員 首藤委員						○												説明済	
				首藤委員 関根委員							○											説明済	
		13	震災時の対応の中で、指揮命令系統に問題はなかったのか、改善すべき点はあるのか、等について説明してもらいたい。	長谷川委員	○																	説明済	
		14	発電所と東北電力本社との情報連絡の状況、役割分担について説明してもらいたい。	首藤委員	○																	説明済	
		15	上記の各対応(No.11,12,14)から得られた教訓・課題、それら課題・教訓への対応状況について説明してもらいたい。 【関連質問】総合防災ネットワークについて、中継基地とか、どこがクリティカルパスになるのかというところ等を詳細に説明して欲しい。(計画倒れにならないよう)(第2回)	首藤委員	○																	説明済	
	兼本委員						○													説明済			
	(7)点検・評価結果	31	3.11地震での被害調査結果を詳しく説明してもらいたい。また、健全性診断法で予想した損傷レベルとの被害調査結果との対応関係を説明してもらいたい。	栗田委員																△			
		32	東日本大震災によって、原子炉建屋・構造物のひび割れ、アンカーの変形などの発生・修繕・交換状況は、それらは耐震・耐津波安全上問題ないか。また今後の地震によって進展する可能性はどのように評価されるか説明してもらいたい。	長谷川委員																△			
		33	地震応答解析と被害調査の関係がどうであったのか説明してもらいたい。 【関連質問】燃料プールへの塗膜片落下事象があったことから、燃料プール上部からの落下物に対する対策を検討して欲しい。(第5回) 【関連質問】建屋の剛性低下に係る経年的変化の分析結果について説明していただきたい。(第11回)	栗田委員																△			
				源安委員																			
		兼本委員																					
		34	「地震応答解析結果に基づく構造評価」(第1回検討会の資料-4 p.15)において、「裕度の有無」を判定する判断基準と、その背景にある論理(そのような判断基準とした根拠となる考え方)について説明してもらいたい。	首藤委員																			
		35	被害を受けた設備は、ダメージが累積してきている。例えば、8、16地震で被害を受けた設備は、ダメージがあればそのダメージに加え、3、11地震時のダメージも累積されている。それをどのように定量化して評価しているのか説明してもらいたい。	源安委員																			
		36	健全性確認においては、観測された地震動を最も再現できるようなモデル(パラメータ)による評価結果を基に、評価・点検を実施するのか。	栗田委員																△			
		37	設備や建屋で、耐震クラスが低くても、それらの損傷が、耐震クラスが上位のものに作動に影響を与えることが予想される場合、それらの耐震解析評価(地震応答スペクトル評価)を行っているか説明してもらいたい。	長谷川委員																			
		38	地震観測記録として、建物は確認されているが、重要機器の観測記録はあるのか説明してもらいたい。	源安委員																			
39	地震による評価に関して、応答スペクトルが機器系に与える影響をどのように評価しているのか。地震動の影響がどのような形で、フロアレスポンスが具体的にどのように機器、配管、設備に影響するのかということとどのように評価しているのか説明してもらいたい。	鈴木委員																					
40	これまでに女川2号機(や1、3号機)で起こったシュラウド、再循環系配管、出入りロズル配管などのひび割れ、配管系の減肉はどのように修理・管理されてきているか。それらは東日本大震災で影響を受けていないか。また新たなひび割れ、異常な減肉などがないか。これらに関してどのような検査を行っているかについて説明してもらいたい。	長谷川委員																					
62	重油タンクの倒壊について、この被災状況、今後の対応については了解したが、その他の液体貯槽について、対津波、対地震対策は新たな検討がなされたのか伺いたい。特に、機器系について耐震重要度別に軽微な被害を含めて被害(無被害)状況と今後への教訓について説明してもらいたい。	鈴木委員																					

